

---

## 令和3年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

令和3年3月10日

質問者（質問順）

- 1 山田一誠 委員（自民党）
- 2 山本たかし 委員（自民党）
- 3 望月高德 委員（立民フ）
- 4 加藤広人 委員（公明党）
- 5 荒木由美子 委員（共産党）

経 済 局



## 局 別 審 査

### 1 山 田 一 誠 委 員 (自 民 党)

#### 1 令和3年度経済局予算編成の考え方について

(要望) 脱炭素化、再エネルギー化の促進、デジタル化等の時代の変化の時期にあるので、しっかりと経済施策に取り組むよう要望する。

#### 2 商店街プレミアム付商品券支援事業について

(1) 商店街の商品券発行を支援する理由について伺いたい。

(2) 電子商品券の発行の進め方について伺いたい。

(3) 期待される事業の効果について伺いたい。

#### 3 商店街組織の持続及び発展について

(1) 商店街組織の持続・発展に向けた課題認識について伺いたい。

(2) 商店街組織の持続化に向けた具体的取組について伺いたい。

(3) 商店街活性化促進プロジェクトの進め方について伺いたい。

#### 4 事業継続・展開支援事業について

(1) 「事業継続・展開支援事業」のねらいについて伺いたい。

(2) 事業継続・展開支援補助金「販路開拓支援型」の具体的な支援内容について伺いたい。

(3) 事業継続・展開支援補助金「設備投資支援型」の具体的な支援内容について伺いたい。

(4) 申請手続を分かりやすくするための工夫について伺いたい。

(要望) 事業継続・展開支援事業についてしっかりと取り組むよう要望する。

5 中央卸売市場内外の事業者支援について

- (1) アフターコロナを見据えた市場内事業者支援の考え方について伺いたい。
- (2) 市場内事業者支援の具体的な取組について伺いたい。
- (3) 横浜市場直送店登録制度の実施により期待される効果について伺いたい。
- (4) 市場外の卸売事業者への支援策について伺いたい。

6 with／afterコロナに向けた横浜経済調査について

- (1) 調査のねらいについて伺いたい。
  - (2) 具体的な調査内容について伺いたい。
  - (3) with／afterコロナにおける横浜経済の成長及び発展に向けた意気込みについて伺いたい。
- (要望) 企業も人も横浜に根付いてもらうために、横浜経済の成長発展に取り組むよう要望する。

7 「イノベーション都市・横浜」の推進について

- (1) 「イノベーション都市・横浜」の考え方について
  - ア 「イノベーション都市・横浜」の基本的な考え方について伺いたい。
  - イ 横浜の特長について伺いたい。
- (2) 「イノベーション都市・横浜」の推進体制と取組内容について
  - ア 「イノベーション都市・横浜」の取組の進め方について伺いたい。
  - イ 具体的なプロジェクトについて伺いたい。
  - ウ 民間人材の登用の考え方について伺いたい。
  - エ 民間主体のファンドを立ち上げるべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - オ グローバル人材を横浜に呼び込むための方策について伺いたい。

2 山本たかし 委員（自民党）

1 小規模事業者支援について

- (1) 小規模事業者コロナ禍特別相談支援事業を行う意義について伺いたい。
- (2) 小規模事業者コロナ禍特別相談支援事業の体制と特徴について伺いたい。
- (3) 小規模事業者コロナ禍特別相談支援事業の広報及び周知の取組について伺いたい。

2 商店街支援について

- (1) 「紙の商品券発行」及び「電子商品券の発行」のそれぞれの特長について伺いたい。
- (2) 商店街プレミアム付商品券支援事業の実施に当たっては、電子商品券のみで実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 商店街のブランディング活動に対する支援の考えについて伺いたい。
- (要望) 効果的なブランディングは、インバウンドを含めた商店街への来街を促すことにつながるため、継続的な支援をしていただきたい。

3 雇用対策について

- (1) 令和3年度の緊急雇用創出事業の内容について伺いたい。
- (2) コロナ禍を契機とした新たな就職支援の取組について伺いたい。
- (3) 中央職業訓練校における職業訓練のオンライン化を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) コロナ禍で実施した取組を踏まえた雇用創出の考え方について伺いたい。

4 女性起業家支援について

- (1) 令和2年度の輝く女性起業家プロモーション事業の実績について伺いたい。
- (2) 輝く女性起業家プロモーション事業が女性起業家にもたらす効果について伺いたい。
- (3) 令和3年度の輝く女性起業家プロモーション事業の取組について伺いたい。

## 5 企業誘致について

- (1) 横浜と東京の空室率の変化と都内企業のテレワーク実施状況について伺いたい。
- (2) 企業誘致を進める上でのオフィス動向や働き方の変化の認識について伺いたい。
- (3) オフィス動向を企業誘致につなげていくための具体的な方策について伺いたい。
- (4) 郊外部への企業誘致の進め方について伺いたい。

## 6 オープンイノベーションの推進と新たなビジネス創出について

- (1) with/after コロナを踏まえたスタートアップ支援の考え方について伺いたい。
- (2) 令和3年度におけるYOXO BOXの支援内容について伺いたい。  
(要望) YOXO BOXには、魅力的な支援メニューがそろっている。支援体系の全体像などをわかりやすく発信していただきたい。
- (3) I・TOP横浜における実証実験の実績について伺いたい。
- (4) 令和3年度における実証実験の見込みについて伺いたい。

## 7 脱炭素化に向けた産業界の取組支援について

- (1) 経済局における令和3年度の脱炭素化の取組について伺いたい。
- (2) 経済局としても、産業界の脱炭素化を積極的に支援していくべきと考えるが、見解を伺いたい。  
(要望) 横浜商工会議所と連携した産業界への働きかけ、LIP. 横浜やI・TOP横浜のような大学と企業間同士の連携による、脱炭素化に向けたネットワークの構築など、これまで以上にしっかりと取り組んでいただきたい。

### 3 望 月 高 徳 委 員（立民フ）

#### 1 コロナ禍の横浜経済の現状と対策について

- (1) 市内経済の現況について伺いたい。
- (2) 今後の市内経済の見通しについて伺いたい。
- (3) 特に厳しい状況に置かれていると考えられる業種、事業者、あるいは家計について伺いたい。
- (4) 厳しい状況を踏まえたコロナ禍での経済局の役割について伺いたい。
- (5) 国や県の支援メニューも含めた様々な支援メニューを、必要とする対象者に届けるための取組について伺いたい。
- (要望) 市だけではなく、国や県も含めた様々な支援メニューの情報を、プッシュ型で必要とする対象者に届けていただきたい。
- (6) コロナ禍を踏まえた営業形態・業態・業種転換支援について伺いたい。
- (7) 「中小・小規模事業者実態把握調査」の事業目的と内容について伺いたい。
- (8) 「中小・小規模事業者実態把握調査」や「with/afterコロナに向けた横浜経済調査」をより早く、よりの確に施策立案と実施に生かしていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (9) 限られた資源（人と予算）を生かし、市としてコロナ禍での経済の下支え、立て直しに注力していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

#### 2 緊急雇用創出事業について

- (1) 事業目的を踏まえた人件費や想定雇用創出数の積算方法について伺いたい。
- (2) 創出された雇用をより必要性が高い対象者に届ける方法について伺いたい。
- (3) 今後の経済状況を見据え、更なる新規雇用の創出が必要であると考え、見解を伺いたい。
- (4) 長期的な雇用の確保や企業とのマッチングが必要と考えるが、見解を伺いたい。

### 3 横浜市商店街プレミアム付商品券支援事業について

- (1) 紙商品券コース18団体、電子商品券コース10団体の選定基準について伺いたい。
- (2) 今回参加できない（参加しない）商店街との公平性の担保や効果の波及方法について伺いたい。
- (3) 商店街に加盟していない事業者にも恩恵をもたらす方法について伺いたい。

### 4 スタートアップ成長・発展推進事業について

- (1) スタートアップ支援の目的と概要について伺いたい。
- (2) スタートアップ事業の成果指標と取組実績について伺いたい。
- (3) スタートアップが横浜を選択するための環境づくりについて伺いたい。
- (4) 将来的に横浜の経済に寄与してもらうプロセスについて伺いたい。

### 5 オープンイノベーション推進事業について

- (1) オープンイノベーションについて伺いたい。
- (2) オープンイノベーションにより目指すものについて伺いたい。
- (3) I・TOP横浜について伺いたい。
- (4) LIP．横浜について伺いたい。
- (5) オープンイノベーションの中でのI・TOP横浜とLIP．横浜の役割について伺いたい。
- (6) I・TOP横浜とLIP．横浜の成果と実績について伺いたい。
- (7) I・TOP横浜とLIP．横浜を通しての本市の経済や産業に対する成果について伺いたい。



6 これからの産業育成、成長戦略について

- (1) 横浜の魅力と強みについて伺いたい。
- (2) 横浜の魅力と強みを生かした産業育成と成長戦略について伺いたい。
- (3) 各種施策を通しての目指すべき市民還元の姿について伺いたい。
- (要望) 成果の見える化、具体化が重要である。「横浜市企業立地等促進特定地域等における支援措置に関する条例」において、税収等の成果が数値化されているように、オープンイノベーションの分野でも、成果の見える化、具体化をしていただきたい。

7 B C P（災害に強い中小企業育成支援事業）について

- (1) 民間企業、特に中小企業や小規模事業者の推定 B C P 策定状況について伺いたい。
- (2) 令和 2 年度の市の支援内容と実績について伺いたい。
- (3) より多くの企業に B C P 策定を行ってもらうに当たっての課題について伺いたい。
- (4) 課題を踏まえた今後の取組について伺いたい。

4 加藤 広人 委員（公明党）

1 産業構造の変化に対する中小企業支援について

- (1) 横浜市の産業構造の変化のとりえ方について伺いたい。
- (2) 市内中小企業が、産業構造の変化に対応したビジネスができるよう支援していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 小規模事業者支援について

- (1) 連携する支援機関と具体的な連携内容について伺いたい。
- (2) 支援機関との連携により見込まれる効果について伺いたい。

3 中小企業の設備投資に対する支援について

- (1) これまでの設備投資を行うための支援について伺いたい。
- (2) 設備投資による効果について伺いたい。
- (3) 設備投資に対する支援の方向性について伺いたい。

4 中小企業の資金調達支援について

- (1) 令和2年度の横浜市中企業融資の実績について伺いたい。
- (2) 令和3年度の横浜市中企業融資の考え方について伺いたい。
- (要望) 全ての中小企業の資金調達を支援するよう要望する。

5 I・TOP横浜とLIP.横浜の融合について

- (1) I・TOP横浜とLIP.横浜の融合の考え方について伺いたい。
- (2) LIP.横浜におけるヘルスケアビジネス創出の取組実績について伺いたい。
- (3) デジタルヘルスケア分野の中小企業支援の具体的な取り組み方について伺いたい。

6 中央卸売市場本場周辺の賑わいづくりについて

- (1) 低未利用地の具体的な場所と現在の活用状況について伺いたい。
- (2) 「食」をテーマとしたイベントの具体的な想定と事業者ヒアリングの際の反応について伺いたい。
- (3) 「食」のイベントに対する市場事業者の関わり方について伺いたい。
- (4) 市場周辺の賑わい創出に向けた取り組み方について伺いたい。
- (5) 京浜臨海部再編整備マスタープランの将来像実現に向けて、全庁を挙げて検討を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 荒木 由美子 委員（共産党）

1 コロナ禍における中小・小規模事業者政策について

- (1) 令和2年度におけるコロナ関連の中小企業支援施策の内容及び実績について伺いたい。
- (2) 小規模事業者支援一時金は、50万円以上500万円以下の融資を受けた小規模事業者に10万円の一時金を交付するとなっているが、申請した際などにアンケートをしたと聞いている。どういう要望や意見が寄せられたのか。
- (3) 中小企業の「新しい生活様式」対応支援事業補助金については、2月中旬で10,183件申請があったと聞いている。4回の申請機会があり、4回目の申請方法を変更したのは、申し込みが殺到したためと聞いているが、どう改善したのか。
- (4) 「新しい生活様式」対応支援事業補助金の申請受付から支給までにかかる期間について伺いたい。
- (5) 「新しい生活様式」対応支援事業補助金の支給までの期間短縮に向けてどのような努力をしてきたのか。
- (6) 「新しい生活様式」対応支援事業補助金の申請が融資制度に次いで多い理由について伺いたい。
- (7) これらの状況から令和3年度は「新しい生活様式」対応支援事業補助金に代えてどういう施策を考えたのか、施策の事業内容及び予算について伺いたい。
- (8) 「新しい生活様式」対応支援事業補助金に代わる補助金の補助率は、従来の10分の9から3分の2になると聞いている。補助率を上乗せできないのか。
- (9) 多くの事業者が補助金を使えるように補助率を下げることは理解できるが、自己負担が少ない制度にニーズがある。令和3年度も、3分の2の補助率ではなく、国の様子を見ながら補助率を設定できないのか。
- (10) 持続化給付金や家賃補助制度のような、国の制度の対象要件から外れた個店等に対して、直接支援する市独自の制度を作るべきと考えるが、見解を伺いたい。

(11) 緊急事態宣言がさらに2週間延長され、持続化給付金や家賃補助制度などの国の制度は、申請が終了しているが、個店を経営している方々は、既に多額の融資を受けており、これ以上融資を受けられない。そのため、直接支援を待ち望んでいる点をどう応えようと考えているのか。

(要望) 個店等に対して、直接支援する市独自の制度を作っていただきたい。

(12) 2月に開始した小規模事業者コロナ禍特別相談支援事業の実施状況について伺いたい。

## 2 商店街施策について

(1) 商店街に対する令和3年度支援策の内容について伺いたい。

(2) 令和2年度の施策で、商店街活性化イベント助成事業など商店街ソフト支援事業の5,850万円の予算があったが、コロナの影響でイベントの実施ができなかった一方で、マスクや消毒液などの衛生用品を購入したいとの商店街の方々のニーズに応じて補助制度を新設したところ大変喜ばれたと聞いている。そのようなニーズに臨機応変に応えられることが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(3) そのような状況で、令和3年度、商店街ソフト支援事業の予算を5,850万円から4,300万円に1,550万円減額した理由について伺いたい。

(4) 魅力ある店づくりを行う個店を支援する事業の予算を令和2年度の2,450万円から1,450万円に減額した理由について伺いたい。

(5) 商店街ハード整備支援事業の予算を7,253万円から6,300万円に減額した理由について伺いたい。

(6) 商店街組織持続化支援事業について1,900万円から2,330万円に増額した理由について伺いたい。

(7) 新規事業である商店街活性化促進プロジェクト事業200万円の内容について伺いたい。

(8) 新規事業である若手育成支援事業250万円の内容について伺いたい。

- (9) 個店や商店街を直接支援することにより中小・小規模事業者が営業を続けられることで、結果的には、雇用を守り、市税が入ってくることになる。今コロナで大変な事業者をつぶさないために直接支援の補助制度が必要だと思うが、現状の補助制度で十分足りていると考えているのか。
- (10) 中小企業を支える経済局として、他都市で実施しているような直接支援の補助制度を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (11) 体力のある企業に助成金を出す「横浜市企業立地等促進特定地域等における支援措置に関する条例」の助成金の予算を組み替えて、違う使い方をすべきと考えるが、見解を伺いたい。